



さあ、街から世界を変えよう。

2023年5月8日

三井不動産株式会社

## 『2023 ワールド車いすラグビー アジア・オセアニア チャンピオンシップ』に 三井不動産が冠スポンサーとして協賛決定！

開催日 2023年6月29日(木)～7月2日(日) / 会場 東京体育館

三井不動産株式会社(所在地:東京都中央区、代表取締役社長:植田 俊)は、2023年6月29日(木)～7月2日(日)に開催される一般社団法人日本車いすラグビー連盟(以下、JWRF)が主催する『2023 ワールド車いすラグビー アジア・オセアニア チャンピオンシップ』に冠スポンサーとして協賛することを決定しました。

これにより、大会名称は『三井不動産 2023 ワールド車いすラグビー アジア・オセアニア チャンピオンシップ』となります。

当社は、2016年からJWRFのトップ街づくりパートナーとして車いすラグビー日本代表を応援しており、「車いすラグビー日本選手権大会」や「三井不動産 2022 車いすラグビー SHIBUYA CUP」に協賛しています。今後も車いすラグビー日本代表の活躍を応援するとともに、様々な取り組みを展開していく予定です。スポーツを支えることで生まれるつながりとおして、人や地域や社会により変化を作り出すことを目指します。

本大会は、2024年に開催されるパリ2024パラリンピックのアジア・オセアニア地区からの出場権1枠を決定する非常に重要な大会です。車いすラグビー日本代表チームは2018年に世界選手権で初優勝し、世界強豪国のひとつとなりました。東京2020パラリンピックでは2大会連続となる銅メダルを獲得し、パリ2024パラリンピックでの悲願の金メダル獲得に向け一層の活躍が期待されています。

### ■『三井不動産 2023 ワールド車いすラグビー アジア・オセアニア チャンピオンシップ』 概要

大会名称	三井不動産 2023 ワールド車いすラグビー アジア・オセアニア チャンピオンシップ
主催・主管	一般社団法人 日本車いすラグビー連盟
大会タイトルパートナー	三井不動産株式会社
大会オフィシャルパートナー	三菱商事株式会社 日興アセット・マネジメント株式会社
大会メディアパートナー	株式会社 LIVE BOARD
大会協力(※予定)	オイシックス・ラ・大地株式会社 京都機械工具株式会社 共同リネンサプライ株式会社 日本新薬株式会社 西尾レントオール株式会社 株式会社モルテン ヤマトホールディングス株式会社 株式会社 SPORTS Edge 株式会社 Gifut
後援(※予定)	公益財団法人日本パラスポーツ協会 日本パラリンピック委員会、公益財団法人日本ラグビーフットボール協会、オーストラリア大使館、ニュージーランド大使館
日程	2023年6月29日(木)～7月2日(日)
会場	東京体育館 (所在地:東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-17-1)

### ■大会公式ロゴ



## ■過去大会の様子



(左) 2022年11月19-20日に開催した「三井不動産 2022 車いすラグビー SHIBUYA CUP」  
 (右) 2019年12月22日に開催した「車いすラグビー第21回日本選手権」

## ■「スポーツの力」を活用した街づくりのスローガン

三井不動産は、2016年から「BE THE CHANGE さあ、街から世界を変えよう。」というスローガンを掲げ、ボルタリングウォールやスケート場を備えた「MIYASHITA PARK」や、200m 陸上トラックなどを含むスポーツパークを有する「三井ショッピングパーク ららぽーと福岡」、屋内型スタジアムコート(Fansta XROSS STADIUM)を有する「三井ショッピングパーク ららぽーと堺」など、スポーツの要素を取り入れたさまざまな街づくりを手掛けてまいりました。今後も「スポーツの力」を活用した街づくりを推進してまいります。

# BE THE CHANGE

さあ、街から世界を変えよう。

一人ひとりが変化そのものになるとういう意味の「BE THE CHANGE」のロゴは、世界を変える「風」をモチーフにデザインされました。三井不動産のコーポレートカラーの二色で塗り分けられたエレメントは、「風に乗って飛び立つ鳥」をイメージしています。「人が変われば、世界は変わる」という思いから、掲げたスローガンです。

## ■三井不動産のSDGsへの貢献について

[https://www.mitsufudosan.co.jp/esg\\_csr/](https://www.mitsufudosan.co.jp/esg_csr/)

三井不動産は、「共生・共存」「多様な価値観の連繋」「持続可能な社会の実現」の理念のもと、人と地球がともに豊かな社会を目指し、環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)を意識した事業推進、すなわち ESG 経営を推進しております。当社の ESG 経営をさらに加速させていくことで、日本政府が提唱する「Society 5.0」の実現や、「SDGs」の達成に大きく貢献できるものと考えています。また、2021年11月には「脱炭素社会の実現」、「ダイバーシティ&インクルージョン推進」に関し、下記の通り指針を策定しました。今後も、当社は街づくりを通じた社会課題の解決に向けて取り組んでまいります。

【参考】 ・「脱炭素社会実現に向けた行動計画を策定」

<https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/news/2021/1124/>

・「ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言および取り組み方針を策定」

[https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/news/2021/1129\\_02/](https://www.mitsufudosan.co.jp/corporate/news/2021/1129_02/)

\*なお、本リリースの取り組みは、SDGs(持続可能な開発目標)における2つの目標に貢献しています。

目標 3 すべての人に健康と福祉を  
 目標 11 住み続けられるまちづくりを

